

研修視察の意見・感想

氏名	定方 英一
委員会	文教福祉委員会
視察年月日	平成 24 年 7 月 10 日 (水) ~12 日 (金)
視察先	北海道小樽市・恵庭市・釧路市

小樽市 *福祉コミュニティ都市推進事業について

1、はじめに

小樽市の人口は道内第7位。石狩湾に面し、古くから港湾都市として発展して来ました。歴史的建造物が数多く、日本有数の観光都市としても人気が高いです。かつて最盛期の1960年代の人口は20万人前後をかぞえ、札幌市から列車で30分強であることから、隣接する札幌市のベッドタウンとしての役割も持っていました。しかし、人口は減少傾向にあり、2010年4月12日に総務省から過疎地域として指定され、同年の国勢調査では約13万2千人まで減少しました。

(人口10万以上での過疎地域は大牟田市と小樽市のみ)



2、事業

小樽市では、平成17年4月から、社会実験として、小樽市高齢者懇談会「杜のつどい」の活動をサポートしています。平成17年6月に「杜のつどい」の活動拠点として産業会館1階にオープンした「杜のひろば」では、これまでに、ふれあいサロン（講演とお茶懇）、脳力アップ講座、ペンシルバルーン制作講座、パソコン学習会が開催されるなど、多彩な活動を行っています。「杜のつどい」の事業は「福祉コミュニティ都市・小樽」を目指して、創設されました。高齢者が生きがいを持ち、元気に暮らせるまちづくりについて考える懇談会での議論をとおり、市民

との協働による社会実験を展開しております。（産業会館内に恒常的な活動拠点を設置します。）実験の一環として、高齢者の生きがいづくりや、にぎわいの創出、世代間交流など市民の交流・連携事業等を実施しております。

地域コミュニティ、人と人との交流と連携、協働と支え合い、世代間交流、生きがい創造、社会参画意識、自発性などをキーワードに、「元気な高齢者の活躍、知恵と経験の地域資源化」、「シルバービジネスの育成と支援」、「NPO、ボランティアなど社会参画の推進」、「地域コミュニティの再生（支え合うまち）」などをコンセプトとした、まちづくりを目指します。この背景には、平成14年度に道内主要都市でいち早く高齢化率25%を超え（現在32,5%）「高齢者が元気に暮らせるまちづくり」が重要なテーマ・課題であるからです。

3、まとめ

1 田舎の暮らし	田舎の暮らしの新しい傾向の紹介	200
2 生の花嫁	季節の花を飾ってみよう	400
3 花のメロディ	15分500円でメロディ作り	500
4 花の物語	1年で海外旅行へ行こう!	400
5 絵の教室	えんぴつで手軽に健康管理	300
6 映画茶話会	DVD映画を楽しく鑑賞しよう	300
7 絵画教室	踊りてボランティア活動、元気に届けよう	200
8 男の料理	男も料理を!	400
9 絵画・文字鑑賞	写真画が解説にフキコ(不定期)	200
10 語り合	社会の事、健康の事、自由に話し合おう	200
11 家庭生活相談	相談活動(友人関係や家庭的悩み)	無料
12 カラオケ	花壇作りのノウハウを教えよう	500
13 カムフラージュ	手持りの布や着物を洋服にリメイク!	400
14 着物講座	眠らぬ着物をもう一度活かそう	400
15 高齢者の共同生活	今日の暮らしの課題をテーマに学習	300
16 健康マシーン	能力アップで認知症予防	500
17 国語の時間	美しい日本語を次世代に!	300
18 雑学コーナー	新書雑学です。おたのしみ!	300
19 詩吟の楽	漢詩、和歌など楽器を使い、朗読	400
20 習字教室	初心者と対象に、心静かに書こう	400
21 書道教室	書の本基本古典を臨書で事(手)にしよう	400
22 知らざるアメリカ	日本とアメリカの違いを学びよう	400
23 成年後見制度勉強会	学ばせ! 手帳に備え、世の為、人の為	300
24 アイソロン	簡単な紙で作る(は)し(は)し	300
25 舞踊と音楽の鑑賞	自分、小舞踊を学んでみよう	300
26 太極拳	健康増進、いつまでも入りたい	300

27 太極拳	健康増進、いつまでも入りたい	300
28 卓球で汗を流せ!	用具は揃ってほしい、単に打ちたい、汗を流せ!	300
29 楽しい昼食会	会費200の手作り料理と味わおう	500
30 手編み教室	古い文系を生かして、帽子やマフラーを作ろう	400
31 折り紙教室	自由に作るアクリル作りしよう	400
32 能力アップ 火曜講座	今日の課題と関係する漢字に学習	300
33	簡単な読み書きで脳の訓練	300
34	今日の講座 同上	300
35	今日の講座 同上	300
36	今日の講座 同上	300
37	今日の講座 同上	200
38	今日の講座 同上	400
39	今日の講座 同上	200
40	今日の講座 同上	600
41	今日の講座 同上	400
42	今日の講座 同上	300
43	今日の講座 同上	300
44	今日の講座 同上	200
45	今日の講座 同上	300
46	今日の講座 同上	250
47	今日の講座 同上	無料
48	今日の講座 同上	300
49	今日の講座 同上	300
50	今日の講座 同上	300
51	今日の講座 同上	200
52	今日の講座 同上	300
53	今日の講座 同上	無料
54	今日の講座 同上	200
55	今日の講座 同上	400
56	今日の講座 同上	(100)

「杜のつどい」会員数は約700名でその8割が女性です。講座開設数は52講座と多種多彩であり、述べ参加数は18,000人と盛況であります。成年後見制度・市民後見人への取り組みもいち早く取り入れ、老人パワーと言いますが、青壮年に負けていません。各地域で行っている公民館活動の老人版とも言えます。同じ世代、同じ悩みを抱えている者同士ですから、余計に親しみもあるのかと思えます。人生燃え尽きるまで、如何生き切るかを考えた時、小樽の「杜のつどい」は最高です。これからも、この活動が発展する事を期待して感想とします。

恵庭市 ＊子ども発達支援センターについて

1、はじめに

美しい「ガーデニングのまち」として、全国的に知られる恵庭市。大都市 札幌と新千歳空港に近接するという絶好のロケーションにありながら、豊かで瑞々しい自然と、充実した都市機能に恵まれ、北海道でも屈指の住みやすさを誇っています。また、自衛隊駐屯地3ヶ所あり基地のまちでもあります。



2、事業



子ども発達支援センターでは、発達上の支援を必要とする児童に対する療育を総合的かつ専門的に推進する機関です。また、支援が必要な児童への早期対応を効果的に進めるため、乳幼児の発達相談に取り組み、早期発見・早期療育を推進しております。サービス内容は・児童デイサービス・乳幼児発達支援教室・発達相談・関係機関との調整及び連携・幼稚園、保育所、事業所等への支援・障がいのある中・高生への発達支援・障がい児等の家族への相談支援と内容も充実しております。スタッフも養護学校教諭、言語聴覚士、作業療法士、保育士、幼稚園教諭、社会福祉士等16名の職員で対応しております。

3、まとめ



施設・スタッフの充実ぶりには驚きました。恵庭市が如何にこの事業に力を入れているか分かります。地域の新聞にも活動の様子が掲載されたり、施設も整っているせいか、其処に訪れる人達も明るくみえます。心身に障がいがあると、その両親の負担は並大抵ではないと思います。センターがあることにより、その負担が緩和される事はとても重要です。センターの果たす役割は、多大なものがあると同時に、今後のセンターの更なるご発展を期待しております。

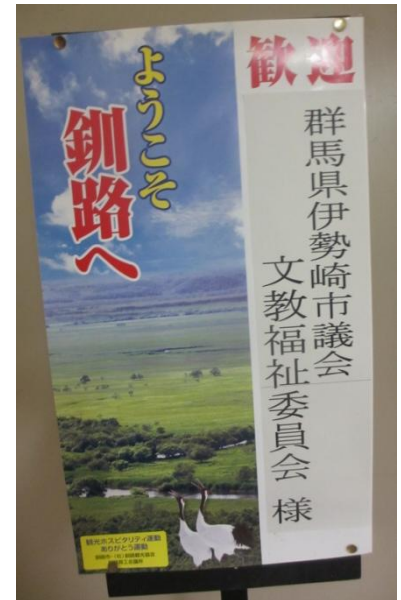


釧路市 *生活保護自立支援プログラムについて

1、はじめに

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置し「釧路湿原」「阿寒」の二つの国立公園をはじめとする雄大な自然に恵まれた街であり、北海道東部の中核・拠点都市として社会、経済、文化の中心的な機能を担っており、その人口は18万2千人であります。

酪農を主力とする豊かな農業生産、豊富な森林資源を有する林業、そして国内有数の水揚げ量を誇る水産業など、日本の食料基地といえる地域でもあります。しかし、これまで釧路地域を支えた水産業、製紙パルプ業、炭鉱産業の三大産業が不漁や低迷する経済状況で衰退して、地域経済はかつての勢いを失っております。



2、事業

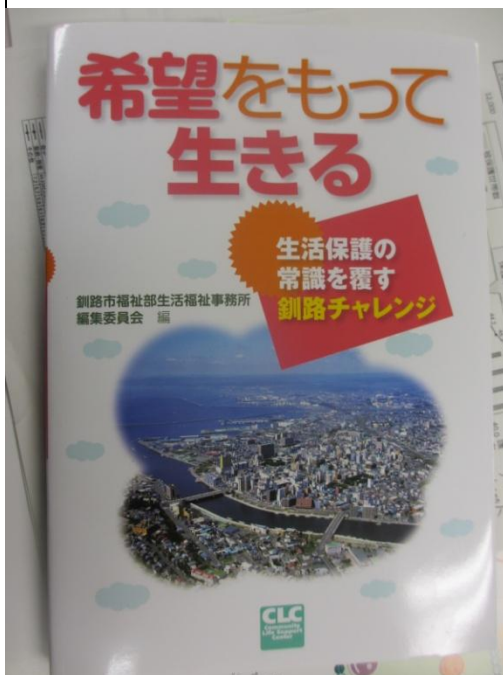
生活保護受給者の自立をエンパワーメントの視点で地域資源と共に支援することを目的としています。

内容：受給者の自尊意識を回復させる為、中間的就労として地域のNPO等各事業者と協力し、有償・無償のボランティア活動等を通じ受給者の居場所づくりに取り組んでいます。こうしたことをきっかけに新たな就業の場の発掘につながったり、再就職の道が開けたり、その人なりの自立した生活が営める事を目指しています。具体的には、インターンシップ事業（廃材分別作業）授産施設作業体験（古着の裁断、ウエスづくり）動物園ボランティア（クマの餌の箱詰め）公園管理ボランティア（花壇の植え替え）農園ボランティア（除草作業）介護・病院等のボランティアと多岐にわたり、自立支援協力団体も13と多くの方が協力的であります。



3、まとめ

釧路市の人口18万2千人、歳出決算総額、約一千億円、その中で生活保護費約141億円です。また、保護率54,3‰（人口1,000人当たり）は、実質的に釧路市民の約18人に1人が生活保護受給者であります。伊勢崎市は（670億）、生活保護費約18億円、受給者200人に1人と比べ余りにも突出しております。生活保護における自立観は、1・日常生活自立、2・社会的自立、3・就労自立の3つであります。釧路市が行っている自立支援事業は全国各地から、行政職員・議員・大学研究者などが訪れ、メディア・研究論文などで取り上げられ、全国的に注目を集めています。そのせいか、説明員の熱のこもった、自信に満ちた語りはさすがと感じました。「仕事があれば、仕事を作り出す」、受給者に何らかの仕事（お手伝い）をして頂く、この姿勢が大事だと感じました。受給者が、喜びをもって働ける、（有償・無償）はともかく、生きがいのある生活は誰でも同じです。釧路を訪れ、強く感じました。



自費出版の本。



つがいの丹頂鶴

<http://kushiro-tancho.jp/>

